

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○ 「チームあかね台」として、全教職員で「生徒が生き生きと輝く学校づくり」を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が主体的に取り組む「わかる・魅力ある授業」を実践し、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、指導と評価の一体化を図り、工夫・改善に努めます。 ・ 生徒会活動・学級活動・部活動・ボランティア活動など、生徒の自主性・主体的な活動を重視し、集団への帰属感・自己有用感・自尊感情を高めます。 ・ 生徒・教職員が安心して生活できる学校にするために、ユニバーサルデザインを意識して、安心・安全に配慮した学習環境の保持・整備と日常の危機管理に努めます。 ・ いじめ・不登校の未然防止のため、日常的な生徒との関わりや相談活動・家庭訪問を通して、生徒のコミュニケーション能力を育成し、「信頼」と「共感」に基づく生徒・保護者との関係づくりを進めます。 ・ 優しさや思いやりの心を育む「心の教育」を推進するために、教育活動全体を通して行う道徳教育・人権教育の充実を図ります。 ・ 家庭・地域および関係機関との連携、9年間で育てる子ども像の実現のため、小中一貫教育を更に推進し、社会を生き抜く力の育成に努めます。 ・ 学校評価に基づき、保護者・地域の方々の信頼と期待に応え、教職員がやりがいや達成感、子どもの成長を実感できる学校運営を進めます。 ・ 学校運営協議会を通して、「地域とともにある学校」を目指すとともに、地域学校協働活動本部との活動を推進します。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<p>生きて はたらく知</p>	<p>①「わかる授業・魅力ある授業」を実践するために、全ての授業のはじめに本時のねらいを示し、終わりに振り返りを行い、授業のユニバーサル化を定着するように指導する。②言語活動を積極的に取り入れ、思考力・判断力・表現力の向上を目指し社会を生き抜く力が身につくように指導する。</p>
<p>担当 学習指導部</p>	

2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

開校以来、年を追うごとに「学習意識」と「生活意識」が少しずつ下がってきている。「学力」に関しては全学年ともほとんどの教科で横浜市の平均を上回っているが、やはり年々少しずつ下がってきている。本校の特徴として、実技教科の学習意識が5教科に比して低いことが挙げられ、今回の結果も同じであった。

2) 教科学習の状況

- 国語科：全学年とも学習意識、授業内容の理解度が高く、全ての項目で市の平均以上である。
- 社会科：全学年とも学習意識が高く、社会が好きな生徒が多いが、校内比で学力が下がってきている。
- 数学科：全学年とも学習意識が高く、全体的に得点率も市の平均より高い。
- 理科：全学年とも学習意識が高く、得点率も市平均を上回っている。
- 外国語科：全学年とも学習意識が高く、徐々に力を伸ばしているが、読む力に関して課題がある。

(3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

過去3年間の経年変化の状況から大きな変化がなく安定している。学力、学習意識、生活意識で市の平均を上まわっている。例年生活意識が市の平均を上回る。体力、運動能力がH30に比して若干低くなっている。教科による学力、学習意識で学年の特徴が見受けられる。実技教科、特に音楽・美術の学習意識は開港当初大変高かったが、28年度から年を追うごとに低くなってきている。